

### 3-3 生涯学習施設（博物館等、図書館）

- ・平安・鎌倉時代の歌人や、ノーベル文学賞を受賞した川端康成など、様々な文人達に愛された自然や風土または、固有の歴史文化に触れることのできる博物館や生命の海科学館、海辺の文学記念館などが沿岸部を中心に立地されています。
- ・生命の海科学館では、学習指導要領に沿ったワークショップや出前授業といった「学習プログラム」が積極的に行われています。また、小中学生向けのイベント開催等が活発に行われ、市外の子供たちの来場も多くなっています。

図 3-22 配置状況・外観写真（生涯学習施設）



生命の海科学館



博物館



図書館

### 3-3-1 博物館等

#### (1) 老朽化状況の把握

- ・生命の海科学館は新しい施設ですが、外装部に部分的な老朽化がみとめられ、定期的な修繕が必要な時期が来ています。
- ・海辺の文学記念館は比較的良好な状態を維持しています。
- ・博物館は築30年以上が経過しています。老朽化度も3を超えており、全体的に老朽化が進んだ状態となっています。

図 3-23 老朽化状況（博物館等）

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年	老朽化度	老朽化度				
				健全	←	→	老朽化	
				1.0	2.0	3.0	4.0	5.0
生命の海科学館	3,281	H10	2.8					
海辺の文学記念館	148	H9	1.8					
博物館	2,344	S53	3.3					

※複数の建物で構成されている施設の建築年は、最も建築年の古い建物をもとに掲載しています。

#### (2) 利用状況の把握

- ・生命の海科学館は平成23～25年度の3か年度平均で約6万人以上に利用されています。また、利用者数は増加傾向にあります。
- ・海辺の文学記念館は利用者数が少ないですが、面積あたり1日あたり平均利用者数をみると、この分類の中で最も多くなっています。

図 3-24 利用状況（博物館等）

施設名称	延床面積 (㎡)	利用者数(人)				1日あたり平均 利用者数(人/ 日)	面積あたり1日 あたり平均利 用者数(人/ ㎡・日)	面積あたり1日あたり平均利用者数(人/㎡・日)				
		H23	H24	H25	3年平均			0.000	0.100	0.200	0.300	0.400
生命の海科学館	3,281	53,031	64,714	71,404	63,050	197.6	0.060					
海辺の文学記念館	148	14,389	16,716	16,264	15,790	51.0	0.344					
博物館	2,344	34,574	32,890	30,575	32,680	108.5	0.046					

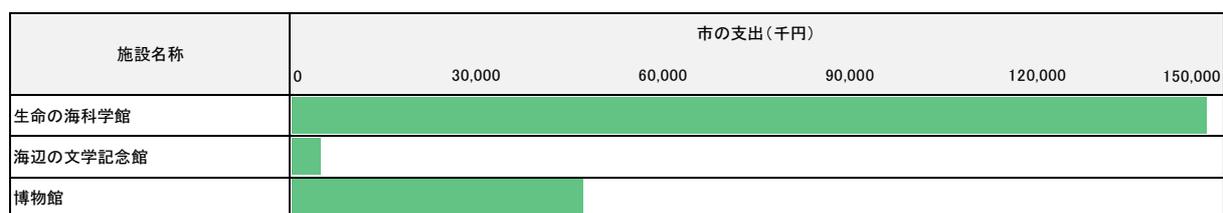
※利用状況の値は3か年度（平成23～25年度）の平均値を掲載しています。

### (3) コスト状況の把握

- ・コストは施設の大きさや利用者数に比例しており、生命の海科学館が最も多く、次いで博物館が多くなっています。

図 3-25 コスト状況（博物館等）

施設名称	市の支出(千円)				
	施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	指定管理料	合計
生命の海科学館	44,536	32,951	70,000	0	147,487
海辺の文学記念館	1,898	0	2,695	0	4,593
博物館	12,041	8,007	26,900	0	46,948



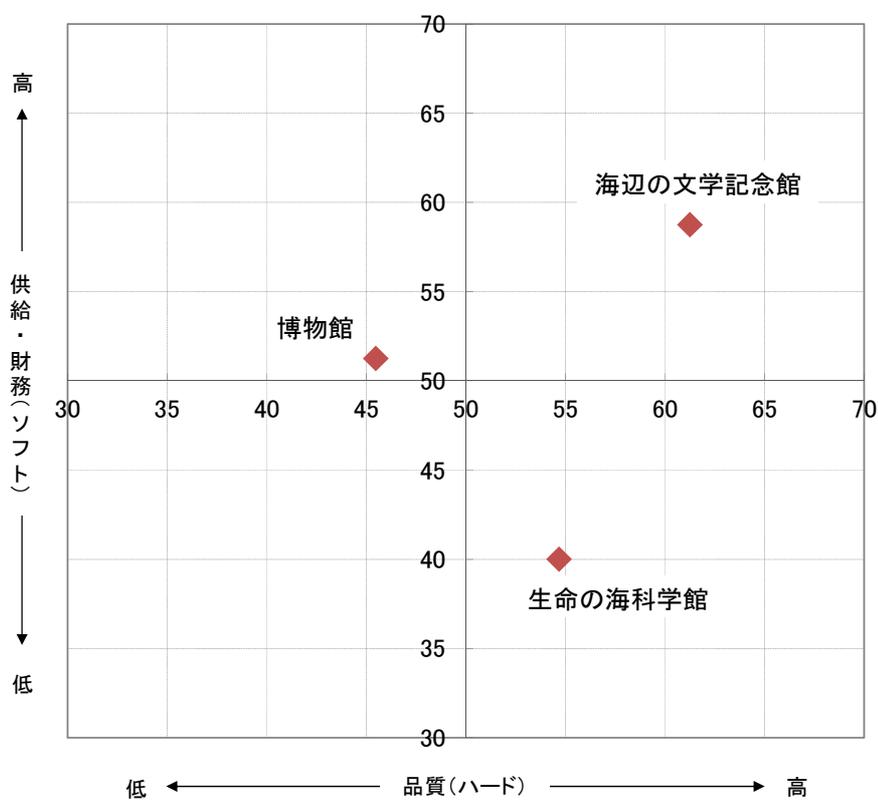
※支出額の値は 3 か年度（平成 23～25 年度）の平均値を掲載しています。

#### (4) ポートフォリオ分析結果

- ・生命の海科学館は供給・財務において平均偏差値が50以下となっています。
- ・博物館は建物の品質において平均偏差値50以下となっており、本市の公共施設の中でも老朽化が進んでいる状況です。

図 3-26 ポートフォリオ分析結果（博物館等）

施設名称	延床面積 (㎡)	品質				品質 (ハード) 平均偏差値	供給		財務				供給・財務 (ソフト) 平均偏差値
		平均築年数	偏差値	老朽化度	偏差値		面積あたり1 日あたり平 均利用者数 (人/㎡・日)	偏差値	面積あたり 市負担額 (円/㎡)	偏差値	利用者1人 あたり1日あ たり市負担 額(円/人・ 日)	偏差値	
生命の海科学館	3,281	16.0	61.9	2.8	47.5	54.7	0.060	43.4	41,522	38.1	6.96	38.4	40.0
海辺の文学記念館	148	17.0	61.1	1.8	61.4	61.3	0.344	64.1	30,951	49.3	0.94	62.8	58.8
博物館	2,344	31.4	49.7	3.3	41.3	45.5	0.046	42.4	18,399	62.6	4.41	48.7	51.2



※品質（ハード）の偏差値は、全施設を対象として算出しています。

※供給・財務（ソフト）の偏差値は、本項に掲載している施設のみを対象として算出しています。

### 3-3-2 図書館

#### (1) 老朽化状況の把握

- ・図書館は築30年以上が経過しています。老朽化度も3を超えており、全体的に老朽化が進んでいる状況です。

図 3-27 老朽化状況（図書館）

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年	老朽化度	老朽化度				
				健全	←	→	老朽化	
				1.0	2.0	3.0	4.0	5.0
図書館	3,348	S44	3.1					

※複数の建物で構成されている施設の建築年は、最も建築年の古い建物をもとに掲載しています。

#### (2) 利用状況の把握

- ・図書館では年間の平均貸出冊数は、40万冊を超えています。蔵書数は約27万冊となっており、平均すると一冊あたり年間1.5回程度の貸出があります。

図 3-28 利用状況（図書館）

施設名称	延床面積 (㎡)	平均貸出冊 数(冊)	平均蔵書数 (冊)	貸出冊数/ 蔵書数	貸出冊数/蔵書数				
					0.0	1.0	2.0	3.0	4.0
図書館	3,348	417,376	266,712	1.565					

※利用状況の値は3か年度（平成23～25年度）の平均値を掲載しています。

#### (3) コスト状況の把握

- ・図書館は、指定管理者制度を導入しています。
- ・市の支出に着目し支出項目別に見ると、施設に係るコストが大きなものとなっています。

図 3-29 コスト状況（図書館）

施設名称	市の支出(千円)				
	施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	指定管理料	合計
図書館	3,752	0	0	112,879	116,631

施設名称	市の支出(千円)				
	0	30,000	60,000	90,000	120,000
図書館					

※支出額の値は3か年度（平成23～25年度）の平均値を掲載しています。